

科目区分	専門分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	回復を促す技術Ⅰ（与薬、創傷管理）			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ 2) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ						
テキスト以外の教材・参考書等	1) メディックメディア 看護が見える①基礎看護技術 2) メディックメディア 看護が見える②臨床看護技術 3) インターメディカ 写真でわかる基礎看護技術アドバンス 4) インターメディカ 写真でわかる臨床看護技術1アドバンス 5) インターメディカ 写真でわかる臨床看護技術2アドバンス 6) 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>看護師の役割として「診療の補助」がある。回復を促す技術は、診療の補助業務を中心に科目構成した。与薬は医師の指示に基づいた薬物療法が安全かつ確実に行われなければならない。創傷管理においては、対象の健康回復を促すために重要な援助の一つである。既習学習の解剖生理学、薬理学の知識も踏まえることで、基本知識の理解につなげる。健康障害をもつ対象に行われる治療・処置について理解し、対象に行われる治療・処置に必要な援助技術の基本知識と技術を理解することで、臨床の場での実践につなげられるようにする。与薬・創傷管理の看護援助を実施するための基礎的技術を習得する。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物療法の基本的知識について理解できる。 2. 安全な薬物療法の援助について理解できる。 3. 各種与薬法について理解できる。 4. 注射法の基礎知識と方法について理解できる。 5. 輸血療法の基礎知識と方法について理解できる。 6. 創傷管理の基礎知識について理解できる。 7. 褥瘡・創傷処置・包帯法の援助方法について理解できる。 							
評価方法	筆記試験 演習参加状況・レポート						
備考	皮下注射、皮内注射、筋肉内注射、静脈内注射の実際について学習し演習時に持参 関連科目：自然科学（物理学）, 解剖生理学, 薬理学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	与薬を安全かつ正確に行う技術 与薬とは、法的根拠、看護師の役割 与薬の基礎知識	
2	与薬の援助技術 与薬法（経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬）	
3	注射による与薬法 注射の基礎知識	講義 DVD
4	注射器、針、アンプル、バイアルの取り扱い 注射法の種類、準備、実施	
5	注射法の実際の基礎知識 皮下注射、皮内注射、筋肉内注射、静脈内注射	
6	注射法の実際援助 皮下注射、皮内注射、筋肉内注射、静脈内注射	講義・演習
7		
8	輸血の援助技術 安全な輸血の基礎知識 輸血の実際	
9	皮膚・創傷を管理するための基礎知識 創傷の分類と治癒過程	
10	創傷管理 創傷処置（創洗浄と保護）包帯法	講義・演習
11		
12	褥瘡管理 褥瘡の基礎知識（発生のメカニズム、好発部位、発生要因と評価）	
13	褥瘡予防・管理の実際	講義 DVD
14	ストーマ造設者への援助 ストーマの基礎知識、装具の交換方法	講義 DVD
15	終講試験 まとめ解説	